

まちの話題

マリンタウンでさわふじ植樹

町花木さわふじの普及推進を図るため、西原町商工会(濱門総会長)は11月4日に「平成24年度町花木さわふじ普及植樹活動」を、東崎都市緑地(イルカ公園)で実施しました。

4回目となった今回の活動には商工会員70社を中心に約100名が参加。成木5本、苗木52本を植えました。町商工会は今後もイルカ公園でさわふじの植樹活動を継続することで、さわふじを町内外にアピールする拠点となり、イベントを開催するなどして新たな名所を目指すことにしています。



楽しい絵本イベント「喜楽星のたまたま箱」

ブックフェスタ「喜楽星のたまたま箱」(読みあいネットワーク喜楽星☆7主催)が、11月3日に町立図書館で開催されました。

図書館のエントランスで行われたイベントでは、琉球大学吹奏楽部の演奏や民謡のミニコンサートなど、さまざまなプログラムが繰り広げられました。読み聞かせのライブでは、参加した子どもたちが絵本をじっくり見つめながら物語を聞き入っていました。また、本のリサイクルや手づくりコーナーなどのブースにも多くの親子連れが訪れ、イベントを満喫していました。



暴力団排除の推進を目指し、警察と連携

暴力団排除措置を講じるための情報共有などを町と浦添警察署が円滑に進め、連携を強化するため「西原町が暴力団排除措置を講じるための連携に関する協定書」を締結するにあたり、11月1日に調印式が行われました。

この協定は、平成23年7月1日に施行された「西原町暴力団排除条例」第5条(町の事務及び事業における措置)の実効性を高めるためのもので、町が発注する公共工事や事務などの取引に暴力団組織や団員が関わらないための連携体制が整いました。

調印にあたり上岡明町長は「反社会的な集団に対し、粘り強く取組むため、警察との連携を深めたい。」と述べ、浦添警察署の並里博署長は「暴力団の介入を防ぐため情報交換を重ねていき、公共工事などから暴力団を徹底的に排除していきたい。」と強い決意を語りました。



譲ってもらったミシンを活用して、洋服をリメイク

中央公民館講座として開催された「オリジナル洋服リメイク講座」で、使用しなくなったなどの理由でミシンの提供を募集したところ、5台のミシンの提供がありました。提供したのは保キクエさん(字掛保久)、比嘉えつ子さん(字我謝)、宮城よし子さん(字幸地)、高良成子さん(字幸地)、波平常則町教育長の5名です。講座は9月から10月にかけて開催され、受講生は交互にミシンを操作して、着なくなったYシャツをパーカーにリメイク。完成した作品を笑顔で着こなししていました。



防災ガイドブックが寄贈されました

(社)沖縄県建設業協会(下地米蔵会長)と(社)沖縄県建設産業団体連合会は「減災・防災ガイドブック」を作成。西原町に2,000部のガイドブックを寄贈しました。ガイドブックには緊急連絡先や各種災害時の対応などが、たくさんの挿絵を使って分かりやすく記載されています。

上岡明町長は寄贈にあたり感謝を述べるとともに「災害時、特にハード部分は建設業協会の協力が必要。連携を展開していきたい。」と今後の協力を期待を寄せました。ガイドブックは自治会に配付され、各地域で有効活用が図られます。



町シルバー人材センターが奉仕活動を実施

(公社)西原町シルバー人材センター(翁長正吉理事長)が、活動の普及啓発の一環として、10月20日に西原南小から町中央公民館までの路線など3ヶ所のクリーンアップ活動を実施しました。

毎年10月に定められている「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の関連事業として実施された活動には、役職員や会員116名が参加。道路や周辺の除草、清掃、草花の植付などの奉仕活動に取り組まれました。



戦没者の冥福を祈り、恒久平和を願う —西原町戦没者追悼式—

日露戦争以来の大戦にかけて戦争で犠牲になった御霊の冥福と恒久平和を願う「平成24年西原町戦没者追悼式」が、10月26日に西原の塔で行われました。追悼式には、県内外から多くの遺族や関係者が参加。戦争の犠牲になった多くの西原出身の戦没者の冥福を祈り、恒久平和の願いを誓いました。

町遺族会の與那城博司会長は「これまで反戦平和を願って一生懸命努力してきた。再び戦争の犠牲者を出さぬよう、過去の経験を生かし、体験を語り継ぎ、戦争の恐ろしさや平和への願いを伝えていく。」と追悼の言葉を述べました。また、幸地自治会の婦人会が千羽鶴を奉納しました。婦人会の会員を中心に折ったという千羽鶴を奉納した仲宗根好美さんは「幸地出身者も大勢の方が犠牲になった。最近はおスプレイ配備などの社会情勢もあって、何かできないかと考え、今回



千羽鶴を奉納する幸地自治会婦人会のみなさん

西原南小学校のPTAと読み聞かせの活動が表彰

西原南小学校(新島悟校長)のPTAが、九州ブロックPTA協議会の団体表彰を受けました。同小PTA(宮城賢会長)は、父母と教師が互いに協力して「みなみっ子まつり」などの事業に取り組んでおり、多様な実績が評価されました。また、同小の読み聞かせサークル「パステル」(代表者、喜屋武ひろみ)が、読書推進の活動に取組む団体を表彰する平成24年度沖縄県読書活動優秀実践教育長表彰を受賞しました。「パステル」は平成14年に結成。全学年を対象に、週に1回の朝の読み聞かせを続けるなど、長年にわたる活動実績などが評価されました。新島校長は「西原南小の設立20年の節目に、ダブルで嬉しいニュースがあった。学校と地域が一体となって取組んできた成果。」と報告しました。



初めて千羽鶴と水を奉納した。地域から手伝いたいという声が多く寄せられたので、これからも活動を広げて続けていきたい。」と今後の抱負を語りました。

第三次さわふじプランお便り 第2号!

第三次さわふじプラン第2回審議会を、11月2日に行いました。詳しい内容は西原町のホームページに掲載しています。

<主に話し合われたこと>

一 「第二次計画の評価」

第二次計画における91事業の評価を、事務局から提案されました。行政の評価と一致しない事項については事務局で再検討し、次回で再確認されることが決まりました。

一 「3つの重要課題」

第二次計画の事業評価を踏まえて3つの重要課題が設定され、11月30日から始まるワークショップや公開講座を通じて広く町民の声を集める機会をつくり、第三次計画に反映させることが決まりました。

【重要課題】「ワーク・ライフ・バランス」「女性の就業、起業」「DV」



日 時：12月14日(金)19:00～21:00
会 場：西原町役場 2階大会議室
テ ー マ：「DVについて」
講 師：矢野恵美(琉球大学法学部准教授)

お問い合わせ 総務部 企画財政課 ☎945-5340